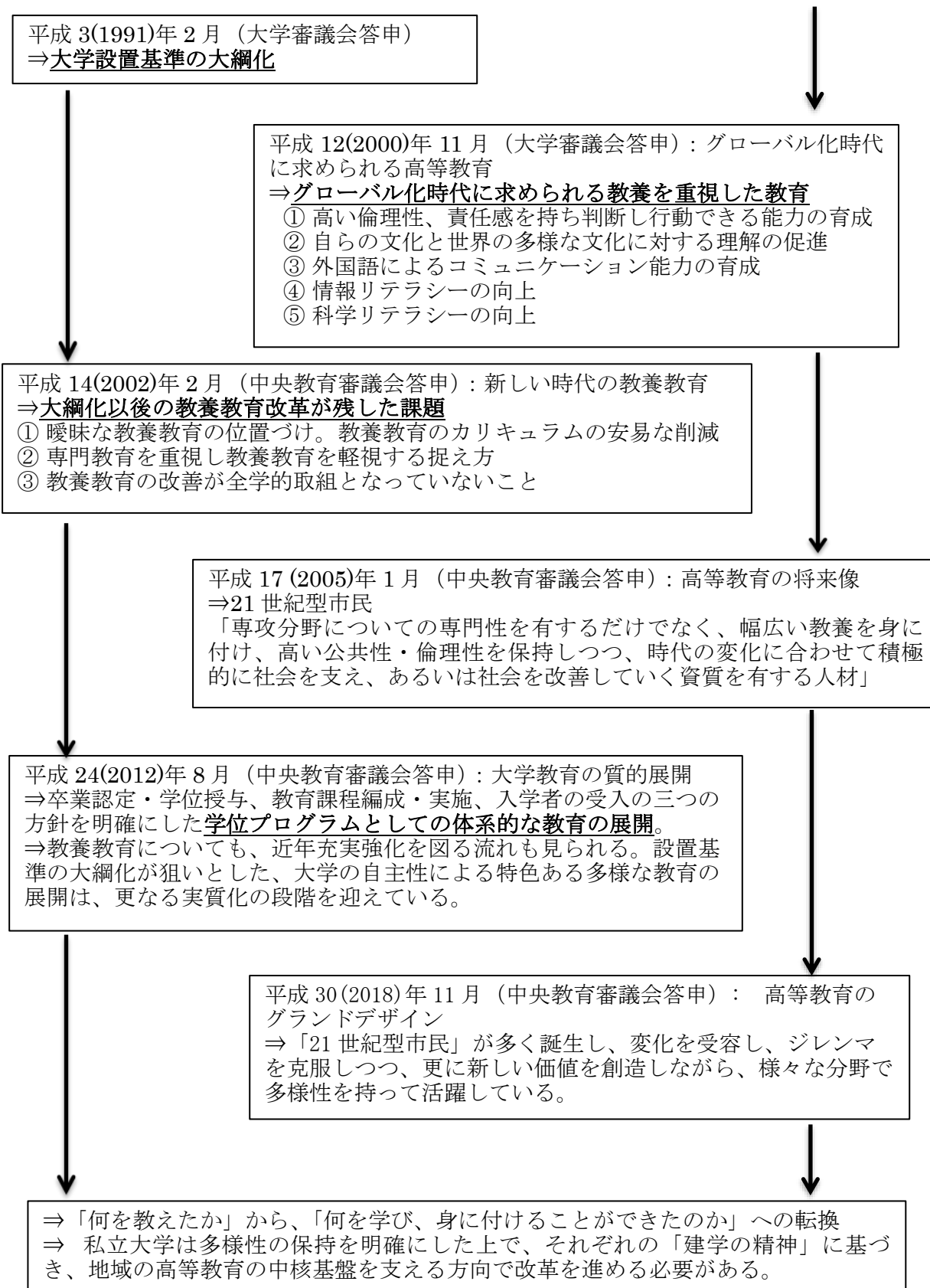


教養教育の充実（教学支援センター）

1. 大学設置基準の大綱化以降の教養教育



2. 「卒業生に関するアンケート調査結果」を受けた改善の取り組み

「一般常識・教養・マナー等の社会性」

「コミュニケーション能力の向上（行動力、理解力、判断力）」

「専門的知識・技能」

「パソコン操作等の能力向上」

「問題解決能力の向上」

3. 本学の教養教育が抱える課題

(1) 建学の精神に基づく教養教育の理念及び目的の明確化

(2) 教養教育と専門教育の関係の整理（教養教育と専門教育の接続）

(3) プログラム化されているか

これらの課題に応じるために、まず、建学の精神、学則上の目的及びディプロマ・ポリシー等との整合性に注意しながら、「教養教育の理念」、「教養教育の目的」、「教養科目の科目区分」について、大学教養教育推進委員会を中心として検討を進めた。

【ディプロマ・ポリシー】

広島文化学園の建学の精神「究理実践」に基づき、深く専門の学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と総合的な判断力を身に付けた学生に、学士の学位を授与する。

(1) 深い教養と人間性を有し、創造的態度と志向性を有している。

(2) 対人援助に係る専門的な知識・技術や問題解決能力、思考力を有している。

(3) 地域の教育、文化、支援など、社会に積極的に貢献できる指導力、応用力を有している。

【広島文化学園大学の教養教育の理念・目的】

教養教育の理念は、幅広い教養に支えられた豊かな人間性を培うことにあります。広島文化学園大学における教養教育では、建学の精神「究理実践」に基づき、大学の教育目的である、豊かな人間性と総合的な判断力を培い、地域社会及び国際社会の発展に貢献できる能力を育成します。

現代社会では、社会の変化に対応して、目標の実現のために主体的に行動し、たくましく生きる力が求められます。本学の教養教育は、高い倫理性や豊かな人間性ととともに、社会を多面的に理解するための幅広い知識、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション力、情報活用力、キャリア形成力等を総合的に養うことを目的とします。

上記の目的を達成するため、教養教育の実施に当たっては、対人援助力を持ち備えた人材育成、及び平和を希求する人材育成という学園の使命を踏まえて展開します。

4. 教養教育の科目区分

表1 教養教育の科目区分

科目区分		科目	(選択) 必修 単位数		
教養教育科目	共通コア科目	教養セミナー	スタートアップセミナー (初年次セミナー、情報リテラシーを含む、全学共通科目名、シラバス共通、各学部で開講)	1	
		「対話」の教育	フレッシュマンセミナー(文化に生きる) (全学共通科目名、シラバス共通、各学部で開講)	1	
		SDGs	看護学からの SDGs、学芸からの SDGs、人間健康学からの SDGs (各学部で開講、「平和」を含む)	2	
	領域科目	人間と社会	インクルーシブ社会論 (全学共通開講科目、遠隔対応授業科目)、日本国憲法、人間関係論、日本と国際社会、社会学、ボランティアと地域住民生活、等	2	10
		人間と文化	人間社会における音楽文化 (全学共通開講科目、遠隔対応授業科目)、心理学概論、生活と文学、世界の歴史と文化、等	2	
		人間と環境	数理から見た生活 (全学共通開講科目、遠隔対応授業科目)、健康スポーツ学、生活と統計、自然環境と人間、等	2	
	外国語科目	英会話フィールドワーク (全学共通開講科目、短期語学留学制度対応科目)、英語、中国語、韓国語、ドイツ語、フランス語、医療英会話、音楽家のための英会話、等	3		
	健康スポーツ科目	体育理論、体育実技、健康と運動、等	2		
	情報科目	情報処理、コンピュータ演習、情報活用演習、コンピュータ操作法、等	2		
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン、広島の特化スペシャリスト、キャリアディベロップメント、職業選択とアイデンティティ、等	2		

表1に示した教養教育の主な特徴及び各科目区分の概要は以下のとおりである。

- (1) 教養教育科目を**全学部学科共通の枠組**として設定したこと。
- (2) 教養教育科目を「共通コア科目」「領域科目」及び「外国語科目」「健康スポーツ科目」「情報科目」「キャリアデザイン科目」に分類し、充実を図ったこと。
- (3) 教養教育の中核をなす**共通コア科目**を充実させるとともに、「『対話』の教育」に加え、大学が推奨する「SDGs」を加えたこと。
- (4) さらに、**キャリアデザインに関連する科目**を区分の一つとして設置し、人間力、社会力の育成に力を注いだこと。
- (5) セミナー及びキャリアデザイン科目については、教養教育科目と専門教育科目との接続を念頭において設置していること。
- (6) 領域科目を構成する3つの領域（「人間と社会」「人間と文化」「人間と環境」）のそれぞれに**遠隔授業対応科目を全学共通開講科目**として設置したこと。
- (7) 「外国語科目」に教養としての英語に加え、**短期語学留学制度に対応する科目**を全学共通で設置したこと。
- (8) 人間力の育成として「健康スポーツ科目」を全学部必修化したこと。
- (9) 社会力の育成として「情報科目」を全学部必修化したこと。
- (10) 教養教育及び専門教育の特質について検討を行い、各学部が開講科目について一定の見直しが行なわれたこと。

※なお、教養教育の検討においては、教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（日本国憲法、外国語、情報機器の操作等）についても考慮した。